

東日本大震災・福島原発事故から1年・・・

# 守ろう命・くらし、STOP! 女川原発

3.11メモリアル  
宣伝・署名行動

## 生業の再建、復旧・復興の推進こそ



3・11東日本大震災、福島原発事故から1年。「東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター」は11日、犠牲者を悼んで胸に喪章(リボン)をつけて、仙台市の繁華街でメモリアル宣伝行動。「被災者・被災地が主人公の復旧・復興を」「東北電力女川原発の再稼働は許さない」と訴え、原発からの撤退を進める要請署名に取り組み、807人分を集めました。

県民センターを構成する女川原発は5系統のうち「被災者の会」や医療、福祉、労働、女性など各団体、個人が82人参加し、「ストップ女川原発」などと書いたのぼり25本を掲げ、県民センターの綱島不二雄代表世話人をはじめ、10人以上がリレートーク。くらし・生業の再建、復旧・復興の推進を訴え、「震災で

女川原発は5系統のうち4系統を失い、東電・福島第1原発事故と紙一重だった」と指摘。「子どもたちを守るため、皆さんの思いを署名に託してください」と呼びかけました。署名した通行人は、「小さい子どもがいるので、福島みたいな事故が起きないかとても心配(仙台市太白区・女性)、「危険な原発に頼らず、太陽光や風力など自然エネルギーを生かすべきだ(仙台市宮城野区・男性)」と話し、若い男女の姿も目立ちました。カラー刷りチラシは、通行人が次つぎと受け取り1800枚がなくなりました。



## 「女川原発」再稼働ゆるさない 30万筆署名達成へ

「女川原発を再稼働させず、原発からの撤退を求める要請署名」が、30万筆の達成へ向けてスタートしました。(呼びかけ団体「東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター、宮城県母親連絡会、日本科学者会」)

議、宮城県労働組合総連合、原発問題住民運動(宮城県連絡センター)すでに、「目標を決め、署名用紙を回して集める」「女川原発の廃炉を求める会が結成される」などの活動が報告されています。

県民センターは、署名用紙を3万枚増刷して、各団体と協力しながら、運動に拍車をかけるための取り組みを強めています。また、「STOP! 女川原発3・20アクション」(裏面参照)の成功をよびかけています。

### 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

ニュース No.9  
2012年3月15日発行

●住所 〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目5-10 護譜代町ビル305号  
●電話 022-399-6907 Fax 399-6925 ●Email miyagi.kenmincenter@.com

# 「原発賠償みやぎ相談センター」活動開始



**現地相談会開き  
電話相談を開設**

**原発賠償の相談機関として**  
東京電力福島第一原発事  
故の被害による賠償請求  
を支援するため、「東日本  
大震災復旧・復興支援み  
やぎ県民センター」は2  
月23日、「原発賠償みやぎ  
相談センター」を設置し  
ました。

県民センターの綱島不  
二雄代表世話人、賠償相  
談センター長になった菅  
場猛天元山形大学教授、  
菊地修弁護士が同日、県  
庁で記者会見。菊地弁護  
士は、「加害者である東電  
が主導権を握り、個別の  
請求は体よく断られてい  
ます。弁護士を通じ集団  
で請求するのが効果的で  
す」と呼びかけました。

賠償請求を担当する弁  
護団も結成されており、  
菊地団長、千葉達朗事務  
局長を含む11人の弁護士  
で構成されています。

賠償相談センターで  
は、営業損害、出荷停  
止、風評被害、就労不  
能、避難費用などを相談  
対象に国の「中間指針」  
にとられない全面賠償  
を求めています。

電話による無料相談  
は、月、水、金曜日の午  
前10時～午後4時まで、  
022・3699・6907  
(県民センターと共用)  
で受け付けています。

## 怒りと深刻な相談が次つぎ

「賠償相談センター」  
は2月26日、角田市で被  
害賠償の相談会を開き、  
福島県境と隣接する地域  
の相談者が訪れました。

●蔵王町で旅館業を営む  
男性「旅館の客が3分の1  
に激減した。キノコや山菜  
も出せなくなり、まきもつ  
かえなくなった。とても旅  
館を続けられない。」

●角田市で製造工場を営  
営する男性「商品の汚染で  
売れなくなった。被害額は  
1億円を超している。つく  
れないことが悔しい。」

●角田市の夫婦「まき  
ボイラーの灰を測ったら

1kg当たり1万3  
570ベクレルあった。  
捨てる場所もなく  
子どもたちが心配  
です。」

●丸森町の男性  
「インシンの放射  
能汚染で食べられ  
なくなり、狩猟も  
できず、畑の被害  
が増え、深刻だ。」

「など、角田市の相談会では12件の  
相談がありました。また、「賠償相談セ  
ンター」開設してから、電話相談は18  
件（15日現在）寄せられています。

綱島不二雄代表は、「引き続き現地相  
談会を開きたい。電話相談も大いに利用  
していただきたい」と語っています。



## 健康調査は必要です

核戦争を防止する宮城  
医師・歯科医師の会（代  
表・沼沢博真保険医協会  
副理事長、大窪豊宮城民  
医連会長）と東日本大震  
災復旧・復興支援みやぎ  
県民センターは14日、  
「宮城県健康影響に関す  
る有識者会議報告書」に  
対する意見と要望書を、  
村井嘉浩県知事、中村功  
県議会議長に提出。沼沢  
代表と県民センターの綱  
島不二雄代表世話人、村  
口至事務局次長（医師）  
が文書を手渡しして説明し  
ました。

要望書は、報告書が都  
合のいい資料や研究論文  
だけをもとに「科学的・  
医学的な観点からは、現  
状では健康への必要性は  
ない」と結論つけている  
と指摘。自然放射能や医  
療被ばく、喫煙などによ  
る発ガンリスクと比較し  
ての説明は、原発事故の  
責任を被害の量的な問題  
にすりかえて矮小化する  
ものであり、倫理的に許  
されないと批判していま  
す。

そのうえで、要望書  
は、◎累積被ばく年間1  
ミリシーベルトを超える汚染地域  
については、18歳以下  
は甲状腺超音波検査の  
実施や一般健診項目に  
白血球分類を加えるな  
ど福島県の健康調査に  
準じた内容と期間にす  
る、◎子どもを持つ親  
の不安にこたえるた  
め、最寄の保健所での  
受診や検査を保証す  
る、◎外部被ばくの個  
別評価のために子ども  
にガラスバッジを配布  
する——ことなど重点  
を求めています。

## 宮城の医師・「県民センター」が知事に要望書

**STOP! 女川原発 3.20 アクション**

日程：3月20日（春分の日）14時集合  
場所：仙台市錦町公園  
（仙台市青葉区中央2丁目21-11）

■スケジュール  
1、集合 14:00～14:40  
■主催者挨拶  
■カストスピーチ  
伏木小龍子さん（おかしなWAWAWA一冊・話・劇・歌の会）  
伏木幸子さん（子どもたちを放射能から守る組織を創る）  
■女川原発報告  
2、黙祷 14:46  
3、アビエーブル 15:00～16:00  
錦町公園～東一丁目～錦町公園  
大・アビエーブル

雨天決行！

主催者：STOP!女川原発3.20実行委員会  
実行委員：宮城県医師会、宮城県歯科医師会、宮城県看護協会、宮城県福祉のネットワーク、1176609、みやぎ復興支援センター、復興支援センター、1176609、みやぎ復興支援センター、1176609、みやぎ復興支援センター、1176609  
問い合わせ：022-233-3333  
メール：stop@stop320.com

**STOP! 女川原発 3.20 アクション**

●3月20日（春分の日）14時集合  
●仙台市錦町公園へ、みんなで行こう

お誘いあって参加し、アクションを大成功させ、女川原発  
ストップ、原発ゼロへ、宮城から全国に発信しましょう。

戦車が繁華街の歩道に、自衛隊員勧誘...

県民センター  
が3・11を千  
リアル宣伝の最  
中、多賀城自衛  
隊が、繁華街の  
歩道に戦車を駐  
車させ、通行人  
を引き込むしく  
さをしていまし  
た。

「若者を勧誘  
している」と、  
批判の声が。